

第四十六回帝國議會  
衆議院

職業紹介法中改正法律案外二件

職業紹介法中改正法律案  
失業保險法案(安達謙藏君外六名提出)  
労働組合法案(板野友造君提出)  
出版印刷法案(中改正法律案)  
工場労働者最低年齢法案  
労働者最低年齢及健康證明書ニ關スル法律案  
治安警察法中改正法律案

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十二年三月七日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鈴木 鏡藏君  
理事 正木 照藏君  
理事 守屋松之助君  
宮崎三之助君  
安原仁兵衛君  
田邊 熊一君  
高田良平君

清瀬規矩雄君  
矢野 丑乙君  
武内 作平君  
栗林 五朗君  
向井 倭雄君  
中原徳太郎君

同日六日委員南鼎三君辭任ニ付其ノ補闕トシ守屋松之助君  
ヲ今七日委員板野友造君辭任ニ付其ノ補闕トシテ清瀬一  
君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

同日五日治安警察法中改正法律案(砂田重政君提出)ノ審査  
ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

出府政府委員左ノ如シ

外務省條約局長 山川 端夫君  
社會局長官 塚本 清治君  
社會局部長 河原田 稼吉君  
社會局部長 田子 一民君  
遷信次官 若宮 貞夫君  
遷信省管船局長 宮崎 清則君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

工場法中改正法律案(政府提出)

工業労働者最低年齢法案(政府提出)

船員ノ最低年齢及健康證明書ニ關スル法律案(政府提  
出)

○鈴木委員長 是ヨリ開會致シマス、板野友造君辭任サレ  
マシテ、清瀬一郎君ガ補闕トシテ議長ヨリ指名ニナリマシ  
タ、ソレカラ南鼎三君ガ辭任サレマシテ、補闕トシテ守屋松  
之助君ガ指名サレマシタ、而シテ板野君ト南君ハ共ニ理事  
デアリマシタ、即チ二名ノ理事ノ職員ヲ生ジマシタカラ、其  
補闕トシテ清瀬一郎君ト守屋松之助君ト委員長ヨリ指名  
致シタイト思ヒマス、御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○鈴木委員長 然ラバ兩君ニ決シマシタ、通告順ニ依テ質  
問ヲ許シマス、矢野丑乙君——居リマセヌカ、ソレナラ次ニ  
高田良平君

○高田委員 深夜ノ就業時間ノ事ニ付テ伺ヒマス、前回ノ  
委員會ニ於テ、政府委員ハ晝間ノ就業時間ヲ一時間短縮セ  
ル理由ハ、職工ノ保護上並ニ精神ノ慰安ヨリ生ズル生産能  
率ノ増進ニ依リ、職工ノ得ル所ガ多イカラデアアルト云フヤ  
ウナ御説明デアリマシタガ、然ラバ深夜就業ニ於キマシテ、  
現行法ニ午後十時ヨリ午前四時マデトアルヲ、改正法ニテ  
ハ、午後十時ヨリ午前五時マデトシ、一時間ノ延長ヲナシタ  
理由ガ、寢ニ不徹底ノヤウニ思ハレルノデアリマス、此深夜  
一時間延長シタル理由ヲ御説明ヲ願ヒマス

○河原田政府委員 深夜就業ノ害ノアリマスコトハ、私ガ  
此ニ啖ヌスル必要モナイノデアリマス、而シテ茲ニ一時間  
ノ延長ヲ致シマシタル理由ハ、理想カラ言ヘバ、夜ハ休養サ  
セルコトガ最も必要ナ事デアアルト思ヒマス、現ニ國際労働  
條約案ニ於キマシテモ、婦人及小兒ノ夜業禁止ニ關スル條  
約ト云フモノガアリマス、其中ニハ子供若クハ婦人ニ對シ  
テハ、午後十時カラ午前五時ニ至ルマデ、少クモ繼續七時  
間ノ時間ヲ含ム、十時間若クハ九時間ノ休憩時間ヲ與ヘル  
ヤウニセヨ、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、ソレデニ  
對シマシテ、日本モ現在ハ夜業ヲヤッテ居ルケレドモ、當時  
カラ三年後、即チ千九百二十二年、詰リ昨年カラ夜業禁止ヲ  
實行スル、直グハ出來ナイカラ、少シク間ヲ置イデ實行スル  
ト云フ除外例ヲ求メテ、其主旨ニ賛成ラシテ居、タヤウナ次  
第デアリマス、デアリマスカラ産業トカ云フ方面ヲ度外シ  
マシテ、單純ニ職工ノ保護及國民衛生ノ見地カラ言ヘバ、理  
想カラ言ヒマスレバ、只今申シタヤウニ、條約案ノ趣旨ガ即  
チ少クモ午後十時カラ午前五時迄ノ七時間、並ニ十時間若  
クハ九時間ノ休憩時間ヲ與ヘルト云フコトガ理想ノ事ト考  
ヘルノデアリマス、サリナガラ斯ノ如キハ、一面ニ於キマシ  
テ日本ノ産業狀態其他ヲ考ヘナケレバナリマセヌド、唯、  
午後十時カラ午前五時ニ至ル時間ダケハ禁止スル、サウ云  
フ事ニシテ、ソレヲ外ニシテ十時間若クハ九時間ノ休憩ヲ  
與ヘルト云フ主義ヲ取ラナカッタ次第デアリマス、只今申シ

マス通り、一面ニ於テ國際労働條約ノ精神ヲ尊重シ、又一面  
ニ於テ日本ノ産業狀態等モ考慮シテ、右様ナ案ヲ立テマシ  
タ次第デアリマス

○高田委員 保護職工ニ關スル衛生上ノコトニ付キマシテ  
御尋ネ致シマス、職工ノ衛生保全中、最も重大ナル關係ヲ及  
ボシマスノハ、晝間ノ就業ヲ一時間短縮シタトカ、又ハ年齡  
範圍ヲ十五トアルヲ十六ニシタトカ云フ様ナコトヨリモ、  
職工ノ多クガ病氣又ハ身體ヲ衰弱ナラシメル一大原因トモ  
認メラルコトハ、即チ食糧及寢具、慰安ノ三點デアラダラ  
ウト私ハ思ヒマス、而シテ是等ニ最も關係ノ多イノハ、中  
流以下ノ工場ガ一番其例ガ澤山アルノデアリマス、故ニ工  
場主ガ職工ニ對スル是等ノ待遇ノ宜シイ工場ニ於キマシテ  
ハ、職工ノ元氣ガ旺盛デアッテ、自分ノ宅ニ居ルヨリモ、却  
工場ニ這入ッテカラ身體ガ健康ニナッテ、長時間ノ就業ニモ  
容易ニ堪ヘルコトガ出來ルト云フ例ガ澤山多イノデアリ  
マス、之ニ反シテ外面ニ見エル形式ノ工場法ニ束縛サレテ  
居ル工場ハ、ソレ等ノ形式ノ設備ニ要スル經費ヲ他ニ於テ  
補填シナケレバナラヌ爲ニ、食糧ノ方トカ、或ハ寢具ノ方ト  
カ、慰安ノ方トカ云フコトニ於テ費用ヲ削リ、ソレガ爲ニ一  
而外觀ヲ見タナラバ、立派ニ其工場ト云フモノハ完備シテ  
居ルヤウニ見エマシテモ、能ク探ッテ見マスルト、殆ド工場  
ハ半病人ノ者ガ多ク、又一寸見テモ顔色ナドモ惡イ、斯ウ云  
フ例ガ多イノデアリマス、故ニ是等ノ工場ニ於キマシテハ、  
周圍ノ圍ヒナドヲ嚴重ニシテ、殆ド工女ヲ牢屋ノ内ヘデモ  
入レテ置キヤウナ形ニシテ、門番或ハ其他ノ護衛ヲ嚴重ニ  
スルト云フコトノ結果ハ、多クハ外觀ノ形式ニ因ハレテ、  
是等ノ條件ヲ具備セシメンガ爲ニ、他ノ方ノ費用ヲ削ルヤ  
ウナ事ガ往々多イノデアリマス、ソレニ付キマシテ今朝廻  
シテ吳レマシタ表等ヲ見マシテモ、非常ニ食糧、寢具、慰安  
方法、是等ニ關シテ工場衛生上非常ニ影響ガアルト信ジテ  
居ルノデアリマス、是等ノ食糧及寢具慰安等ニ付キマシテ、  
政府デハ特別ノ制度制裁ヲ加ヘラル、御考ガアリマスカド  
ウデスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○河原田政府委員 御尤ナ御意見ト思ヒマスガ、職工ノ保  
護並ニ國民保健ノ向上ト云フ事ニ付テ、工場ノ設備、衛生ノ  
設備、或ハ榮養問題ト云フモノガ、重大ナル關係ガアルト云

フコトハ、御同感デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、現行法ノ第三條ニ御承知ノ如ク工場ノ設備、衛生問題、危害豫防等ニ付テハ、主務大臣ガ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコト云フコトニナリテ居リマス、然ルニ今日マデ未ダ詳細ナ命令規定ガ出テ居リマセヌデ、是ハ研究ノ上適當ナ方法ヲ立デ、第三條ノ施行規則ヲ作リタイト考ヘマス、ソレカラ尙ホ是等ニ伴ヒマシテ、矢張幼年工ノ年齢ノ問題トカ、労働時間ノ問題ナドモ、職工保健ノ上進ト云フ點ニ付テ、榮養設備、工場設備ノ完備ト共ニ、適當ニ考ヘルコトガ極メテ必要デアラウト存ジマス、是等ニ對スル改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス

○高田委員 職工募集ノ事ニ付テ伺ヒタイ、工場法ノ改正ニ當テ、職工募集ニ關シマシテハ、更ニ何等改正ヲ行ヒタル主要ナル點ハ無イ様デアリマス、尤モ本項目ハ、其募集方法ニ許可方法トカ、一切地方長官ノ隨意ニ行フ制度ニナリテ居ル爲ニ、各縣共ニ認可及募集ノ方法ガ違フテ居ルノデアリマス、故ニ募集ノ都度各縣毎ニ認可ヲ取ラナケレバ募集ガ出来ナイ爲ニ、認可證ヲ取ルマデニ、非常ナ手續ヲ煩ハシ、日數ヲ經ル場合ガ澤山多イノデアリマス、之ニ付テ工場主モ又職工モ苦痛ヲ感ズル點ガ澤山アリマス、此募集方法ニ付テ改正スルト云フヤウナ御意思ハアリマスカドウデスカ、御尋ネ致シマス

○河原田政府委員 是亦只今御述ベニナリマシタヤウニ、今日ノ狀態デハ各命令ノ規定ニ讓ッテアリマシテ、而モソレガ各地方デ各々異ニシテ、隨テ募集上不便モアリ、不統一デアルト云フノデ、此點ニ付キマシテハ篤ト攻究シテ、適當ナ規定ヲ作りタイト考ヘマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○武内委員 工場法ニ關スル行政事務ヲ農商務省カ内務省ニ移管シタラ、ドウ云フ事ニナリマスカ

○塚本政府委員 労働問題其他之ニ關係アル社會問題ニ付キマシテハ從來御承知ノ通り農商務省ノ内務省或ハ事務ニ依ッテハ通信省、又國際労働會議ノ方面カラハ外務省ト云フガ如ク、多クノ官廳ニ分チ掌ラレテ居リマシタ爲ニ、非常ニ不便ヲ感ズル、之ヲ統一シテ匡正スルト云フコトガ、國家社會ノ爲ニ便利デアルト云フ趣旨デ出来タノデアリマス、其中ニ工場ニ關スル工場法ノ規定ノ實行ヲ、農商務省カラ社會局ニ移シタト云フ理由ハ、工場法施行工場監督ト云フ問題ハ、今日ニ於テハ産業ノ方面カラ見ル必要アルト同時ニ、漸次行政ノ上カラ云ヒマスルコト云フコトノ適當デアルト云フ適當サガ漸次著シクナテ来タ、農商務省ニ於テ一般産業行政ト云フ爲ニ之ヲ集メルト云フコトモ宜シイ事デアリマシタノデアリマス、其重要ノ程度ガ漸次高マッテ参リマシタニ付テハ、之ヲ引離シテ別ノ官廳、而モ他ノ多ク

ノ社會問題ヲ集メタ官廳ニ於テ統一聯絡ヲ圖フテ行クト云フコトガ適當デアアル、便利デアルト云フ考デアアル、併ナガラ申マデモナク之ヲ實行スルニ當リマシテハ、勿論産業ト密接離ルベカラザル關係ノアル問題デアラガ故ニ、其社會政策の見地カラト、又産業發展ノ上カラトノ關係ヲ餘程顧慮致シマシテ、畢竟ハ資本労働等ノ協調ヲ遂ゲ、産業ノ發達ヲ圖リ、人類ノ幸福ヲ進メテ行ク上ニ都合好ク計ッテ行カナケレバナラヌト云フ趣旨デヤッテ行ク積リデ居ルノデアリマ

○武内委員 此改正案ヲ御提案ニナルニ付テ、民間ニ御諮詢ニナリマシタカ、ナリマセヌカ

○塚本政府委員 工場法中改正法律案ニ付キマシテハ、全國一般ノ商業會議所ト紡績業者ノ團體、或ハ工業俱樂部、大阪工業會等、關係業者ノ團體ニ草案ヲ送りマシテ、御意見ガアッタナラバ回答シテ貰ヒタイト云フコトデ協議ヲ遂ゲタノデアリマス

○武内委員 何故ニ労働團體ニ御諮問ニナラナカッタカト云フコトガ、私ノ是非御尋シタイ事デゴザイマス、只今參考資料トシテ載キマシタ書類ノ中ニモ、政府委員方御説明ニナリタ通り、商業會議所トカ、サウ云フヤウナ種類ノモノ、回答ガアリマス、又或ハ紡績業者デアルトカ、工業會デアルトカ、其他各種ノ團體ニ御諮問ニナリタ、其答辯書モ新聞紙其他雜誌等ニ載ッテ居リマシテ、ソレモ拜承致シマシタ、所ガ其中ニ労働團體ニ諮問シタト云フコト、労働團體ノ意見ヲ徵セラレタト云フ事實ヲ少しモ見ルコトガ出来ナイ、只今ノ政府委員ノ本法ノ施行ヲ農商務省カラ内務省ニ移シタ、是ハ主トシテ資本ト労働トノ協調ヲ保テ、其向上發展ヲ期サンケレバナラヌノデアルト、斯ウロデハ仰シナルソレナラバモウ少し労働ニ付テ理解ヲ持タナケレバナラヌ、労働者ノ意見ヲ知ラナケレバナラヌ、ソレヲ知ラナイデ、資本ト労働ノ協調ヲ行ハレモ、労働者ヲ保護スルノグトカ言ッテ見タ所デ、實際ソナ事ガ行ハレモ、第一ニ是程ノ立法ヲスルニ當ッテ、現時ノ狀態ニ鑑ミテ見テモ、是非労働團體ヘ之ヲ諮問スルコトハ當然ノ事、或ハ労働團體ハ、官僚式ニ言ヘバ政府ノ認メタル労働團體ハナイ抑シヤルカ知レマセヌガ、多數労働者ノ寄ッテ居ル所ニ協調會ノ如キモノモアリマス、其他種々ノ團體ガ出来テ居ル、或ハ團體デナクモ、労働者側ニ於テ其他ムツカシイ側カラ言ヘバ、或ハ労働者ノ聯盟ト云フヤウナモノ出来テ居ル、サウ云フモノデナクテモ、爰ニ労働者側ニ於テ、斯ウ云フヤウナ風ノモノヲ研究フシテ居ル人ハ澤山アル、大キナ工場ヘ行ケバ、職工側デ研究フシテ居ル者モ澤山アル、之ニ諮問モセズシテ、ソレ故ニ社會政策ヲヤッテ居ル、資本ト労働ノ協調ヲヤリ

ツアルナント言ッテモ、本當ノ労働問題ハ理解ガ出来ナイト思フ、何故是程重大ノ問題ヲ提案スルニ付テ、資本團體タル商業會議所、工業俱樂部、燐寸組合トカ云フ所ニ諮問シテ、労働者ニ何故諮問シナカッタノデアリマスカ、明確ナル御答辯ヲ承リマス

○塚本政府委員 御尤ナ質問ト考ヘマスガ、労働團體ニ關スル諮問ノ手續ハ取ラナカッタ、從來ノ例ニ依ッテ、關係方面ニ諮問ヲ致シテ協議ヲ遂ゲタノデアラガ、労働團體ニ關スル労働者ノ保護ニ付テハ、矢張色々實業家ノ團體ニ於テモ相當考慮シテ居ル、又御承知ノ協調會ノ如キハ、矢張學者モ入ッテ居ル、労働者ノ利害ヲ最モ諒解シテ居ル人達モ幹部ニ入ッテ居ル、斯ウ云フ方面カラモ意見ヲ提出サレテ居ル、凡ソ労働者ノ利害、労働者ノ保護ニ關シテハ、相當必要ナル意見材料ヲ吾々ハ受ケテ居ルト思フ、又吾々ノ方ノ調ニ於テモ、其方面ノ事ハ相當行届イテ居ルト信ジテ居ル、ソレ故ニ強テ今日ノ労働者ニ關スル團體ニ諮問スルコトヲシナカ

○武内委員 只今御座ナリノ御答辯ヲ聽イタノデアリマスガ、是ハ私ガ詳シク申サナクモ、無論協調會ノ如キモノモ私ハ社會ノ重要ナル機關トシテ認メマス、認メマスレドモ、労働者側カラ申シマスル、是ハ矢張資本家ノ提灯持デアリヤウナ考モ持ッテ居ル、サウシテ之ニ致シマシタ所ガ、資本ヲ供給スルトカ、種々ノ斡旋ヲ致シテ居ル者ハ、御承知ノ通り總テ實業家ナノデアリマス、又實業家ノ中ノ者デ労働者側ノモノヲ調査フシタ、ソレデ一通リナ事ハ聽イデ居ルト云フヤウナコトヲ仰シヤリマシテモ、矢張是ハ資本家ガ労働者ノ團體ヲ調査シテ、ソレヲ報告シタト云フニ止マル、是デハドウシテモイケナイ、社會局ノ責任者ニデモナリ、同時ニ労働者ノ希望、労働者ノ狀態ト云フモノヲ御聽ニナリ、直接ニ労働者ノ意見モ聽カナケレバナラヌコトト思フ、此際ニ強イテ追第スル譯デハナイガ、折角社會局ガ出来テ居ル上ハ、サウ云フ方面ノ御注意ガアッテ、労働者ノ心理狀態モ研究サレテ、斯ウ云フ案ヲ立テラシメコトヲ今後ハ努メラレシコトヲ希望致スノデアリマス、次ニ伺ヒマス、此全國ニ在ル各種ノ工場中ニ、工場法ノ規定ヲ遵奉シテ居ラス工場ガ極メテ多イト思ヒマス、政府ハ現行法ノ設備ニ付テドウ云フ監督方法ヲ御執リニナリテ居ルカ、遺憾ナク此工場法ガ行ハレテ居ルト御考ニナリテ居ルカ、其事ヲ伺ヒタイ

○河原田政府委員 要スルニ工場法ノ徹底ヲ期スルニハ、ドウシテモ監督方法ヲ十分ニスルコトガ必要ト考ヘマス、現在ハ御承知ノ通り各地方廳ニ工場監督官ガ配置ニナリテ居リマス、是ハ總數ハ約二百一三十三アッテ、本省ノ社會局ニ屬

シテ居リマス、社會局ニ矢張十二人許リ工場監督ノ判任官  
ガ居リマシテ、地方ノ監督官ヲ監督スル、斯ウ云フ事デ工  
場法ノ施行ノ徹底ヲ期シテ居リマス、唯、今日ノ工場法ハ  
マダ――第十三條ハゴザイマシテモ、此工場ニ最も重要ナ  
規定デアリマスル工場ノ設備、衛生ノ改善ト云フ事ニ付テ  
ノ細カイ規定ガ出テ居ラヌノデアリマス、今日ハ主トシテ  
負傷ニ關スル規則ノ業務上ノ負傷疾病シタ者ニ扶助料ヲ遣  
ラウト云フ事デアリマス、是ハ今日ノ工場法デハ重要ノ規  
定デアリマスガ、將來ハ此十三條ノ設備ノ事項ト云フモノ  
ヲ十分研究ノ上、發布致シマシテ、此工場法ヲ實行致シテ參  
リマシタナラバ、今日ヨリ尙ホ進シテ施設ガ出來ハセヌカ  
ト考ヘテ居リマス

○武内委員 折角立派ナ法律ガ出來マシテモ、安全ニ施行  
セラレヌナラバ、畫ニ畫イタ餅ノヤウナモノデアリマスガ、  
今後ハ此施行ガ完全ニ行クヤウニ、政府當局ノ御努力ヲ希  
望致シマス、ソレト同時ニ斯ウ云フ事ヲスルノガ非常ニ良  
イツノ方法ト思フコトハ、ソレハ工場法ニ依テ極メマシ  
タ工場主ノ遵奉スベキ事項デアリマス、ソレヲ工場法ノ中  
ニ規定ヲ設ケテ、工場主タル者ハ大キク其事ヲ書イテ、職工  
ノ居ル所ニ貼出ストカ、或ハ其規則ヲ印刷シテ、必ズ職工ニ  
渡サレト云フヤウナ風ノ事ヲ致シタナラバ、近來ハ御承  
知ノ通り中々職工モ自覺シテ、一般ノ國民ノ知識ノ程度ヨ  
リモ進歩シテ居ル連中モアリマス、ソレデ詰リサウ云フ事  
ガアルト云フコトナラバ、若シ工場主ガ間違テ事ヲスレバ  
異議ヲ言フト云フ風ニナリハシナイカト思ヒマス、是ハ私  
ノ多明デハアリマセヌデ、協調會アタリデハサウ云フ事ヲ、  
工場法ヲ基礎ニシテ職工規則ト云フモノヲ設ケテ、ソレヲ  
揭示サセルト云フ事ニシタラ宜イト思ヒマスガ、之ニ對ス  
ル政府ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河原田政府委員 御尤ナ御意見ト考ヘマス、實ハ今日デ  
モ段々安全シタ工場ニ於テハ、ソレノ規定ヲ作ッテ、揭示  
スルナリ何ナリデ、周知セシムル方法ヲ執テ居リマスケレ  
ドモ、之ヲ法規規定サレタコトハアリマセヌノデ、只今申  
述ベマシタ十三條ノ細カイ施行命令ヲ出シマス、サウ云フ  
風ノ就業規則ト申シマスカ、職工規則ト申シマスガ、サウ云  
フモノヲ作ッテ、職工ニ周知セシムル方法ヲ執リタイト考ヘ  
テ居リマス際デ、御意見ハ御同感ニ存ジマス

○武内委員 一々逐條ニ御尋致シタイノデアリマスガ、サ  
ウスルト又皆サシモ御迷惑デアリマセウカラ、モウ一點ダ  
ケ伺ッテ、後トハ質問ヲ留係シテ置イテ、逐條ニ付テ御尋ネ  
スルコトニシテ、茲ニ御尋ネシタイノハ、本法ノ十五條デア  
リマス、工場主ハ是非非常ニ重大ナ事項ニ屬スルト思ヒマ  
ス、工場主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、職工ガ業務上ノ負傷シ

疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若  
ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタ者ヲ扶  
助スヘシト云フ規定ガアリマス、所ガ此十五條ハ只今ノ現  
行法ニ比較シマスルト云フト、進歩シタ規定デアリマスガ  
ラ、満足ヲ致スノデアリマスガ、現行法ニ依レバ、御承知ノ  
通り重大ナル過失ノアツタ者ハ扶助セヌト云フ規定ガアル  
ノデアリマス、工場主ノ或ル者ハ、過失ガナクテモ、アレハ  
職工自身ガ過失ニ依リテ負傷シタルノデアルカラ扶助シナイ  
ト云フノデ、其重大ナル過失ニ依ルトキハ此限ニアラズト  
云フ條項ヲ取ラレノデアリマスガ、是ハ工場法ノ全體  
ヲ通シテノ一大進歩ト考ヘマスガ、唯、私ノ御尋シテ置キ  
タイノハ「工場主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ此勅令ノ  
中ニ、矢張只今中上デマシタヤウナモノ「過失ノアル者ハ  
此限ニアラズ」ト書ケバ、折角進歩シタト御推稱中上デタ事  
モ、何ニモナラナイト思ヒマスガ、勅令ノ定ムルト云フ其勅  
令ニハ、ドウ云フ事ヲ御定メニナル御考デアリマスガ、其御  
考ガアレバソレヲ拜聴シタイ

○河原田政府委員 此勅令ノ定ムル所ニ依リ「トゴザイマ  
ス」ノハ、只今御説ノゴザイマシタヤウニ、重大ナル過失ト云  
フコトハ、重大ナル過失ノ由來ニシテヤウニ、重大ナル過失ト云  
フ趣意カラ出タ次第デアリマス、例ヘバ泥酔シテ業務ニ從事  
シテ負傷シタトカ、或ハ故意デヤッタカ云フヤウナ場合ハ  
是ハ考ヘナケレバ、ナラヌ、現ニ此問題ハ昨年布カレマシタ  
現行法ノ問題ト關聯シテ、例ヘバ泥酔負傷シタル場合ハ、是ハ  
扶助ガ出來ヌ、サウ云フ事ノ簡ガ條ゴザイマスガ、要スルニ  
現行法ト相俟ッテ同ジ歩調デ行キタイト考ヘテ居リマス、強イ  
テサウ云フ者ヲ除外スレバ、泥酔ヲ負傷シタルカ云フ場合ハ、  
外シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○武内委員 現行法ノ上ニモ矢張御説ノ通り、泥酔トカ、故  
意トカ云フ事ニ付テハ、非常ニ問題ガアツテ、矢張サウ云フ  
風ノ除外例ガ設ケテアリマスガ、現行法ノ制定サレタ時ハ、  
今日トハ餘程社會モ進歩シタ居リマス、サウシテ其時分ニモ、  
必シモ多數ノ人ガソレヲ健康ナリト考ヘタ譯デモナカッタ、  
故意ニ死亡シタリ、故意ニ負傷シタリスルト云フコトハ、元  
來豫想ノ出來ヌ事デアリマスシ、又泥酔ト云フヤウナコト  
ヲ言ッテ見マシテモ、仕事ヲスルノニ泥酔シテヤレト云  
フコトハ、元來事實問題トシテハ豫想スルコトノ出來ヌ事  
ノヤウニ思ヒマスガ、ソレハ現行保險法ト均衡ヲ取ラ  
ル點ニ付テハ、強イテ惡イト申スノデアリマセヌケレドモ、  
成ベク此點ニ於テハ職工ノ趣意ガ貫徹出來ルヤウナ寛大ナ  
勅令ヲ定メラレノコトヲ希望致シマス、此際ニ私ハ政府ヘ  
注文ガアリマスガ、只今參考書トシテ御廻シ願ヒマシタ工  
場法ニ關スル列國ノ法規ヲ受取りマシテ一覽シタノデアリ

マスガ、十五條ニ關スル規定ハ此中ニ無イヤウデアリマス  
カラ、御面倒デアリマスガ、列國殊ニ五大國ノ第十五條ニ關  
係シテ居ル所ノ規定ヲ拔萃シテ、十五號ニ關聯シタ法規ヲ  
參考ニ御廻シテ願ヒタイ、是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマ  
ス、ソレカラモウ一ツ書類ヲ御廻シ願ヒタイノハ、此法律第  
四十六號ガ出來マシタ原案ヲ御廻シガ願ヒタイ、詰リ現行  
法ノ原案、政府ノ起草サレタ原案デアリマス、現行法ハ政府  
ガ其當時ニ於テハ餘程進歩シタ立法トシテ御起草ニナツタ  
ノデアリマスガ、種々資本家ノ運動ノ爲ニ全然骨抜ニサレ  
テシモウタノデアリマスガ、此原案ハ餘程進歩シタ規定デ  
アツタト思ヒマスガ、本案ヲ審議スルニ必要ナ事ト考ヘマ  
ス、モウ一點伺ヒタイノハ、第一條ノ十五人ヲ十人ニ改メ  
コトニ依ッテ、新ニ本法ノ適用ヲ受クル工場ノ數ガドレ程カ  
ト云フコトハ、ドナタカラカ質問ガアツテ、政府委員ガ追  
テ取調ベテ答辯スルト云フコトニナツテ居リマス、其續ノ事  
デスガ、ソレハ數デナクシテ、業務ノ種類、新ニ工場法ノ適  
用ヲ受クル工場ガ殖エル、ソレニ付テノ會社ノ業務ノ種類、  
ソレハ今御調ベガナイナラバ追ッテ宜シイ、逐條ニ付テ御  
尋ガアリマスガ、ソレハ留保致シマス

○鈴木委員 今武内君ノ御注文ノ中、適用スル業務ノ種  
類ト云フコトハ、政府ガ送テ來タ中ニ合マレテ居ルヤウニ  
思ヒマス、若シソレデ足ラナカッタナラバ……  
○守屋委員 今度ノ第一條ニ依リマス、十五人ヲ十人ニ  
改メラシタコトニ付テ一應御尋致シタイ、政府ノ御廻シニ  
ナリマシタ參考書ヲ見マス、云フト、十五人ヲ十人ニ改メ  
ル諸間ニ對シテ、贊成ヲ表シテ居リマス、ハ、主トシテ商業  
會議所ノ回答ガ多イヤウニ見受ケマス、是等カラ考ヘマス  
ト、從來農村ニアリマス小サナ工場ノ如キモノモ、今回ノ工  
場法ヲ適用シナケレバナラヌヤウニナツタ、詰リ商業會議所  
ノ事業範圍ノ中ニアリマス工業ノ保護ニ對シテハ、商業會  
議所ハ頻リニソレヲ稱シテ居ル、又農業方面カラ考ヘマス  
ト、農業副業トシテハ、ドウシテモ十人位ヲ以テシナケレバ  
ナラヌ場合ガ澤山アリマスガ、之ヲ若シモ工場法ヲ適用  
サレルトコトニナリマスレバ、農村ノ産業組合、利用組合ノ如  
キハ、工場法ヲ適用サレル場合ガ無イデモナイ、斯カル場合  
ニハ、農村振興ノ事ト商業工業ノ振興ノ問題トガ、相衝突スル  
ヤウナ事ガ無イトモ限リマセヌ、御承知ノ如ク農村ハ都市  
ト違ッテ、餘程衛生ノ上ニ於キマシテハ、都市ヨリハ空氣モ  
良シ、食料ナドモ直接農村カラ新鮮ナ物モ攝取スルカラ、衛  
生狀態ガ大ニ都市トハ趣異ニシテ居ル、斯ル狀態ニ在ル  
農村ハ、都市ニ在ル小サナ工業ノ狀態トハ趣異ニシテ居  
リマスガ、今回ノ工場法ヲ適用スルニシテモ、都市ニ於ケ  
ル十人以上ノ工場ト、農村ニ於ケル十人以上ノ工場ニ對シ

テハ、適當ナル範圍ヲ定メルコトガ必要デナイカト思フノ  
デアリマス、工場法施行令ニ依リマスルモ、動力ヲ使用スル  
モノニ對シテハ工場法ヲ適用スルケレドモ、其以外ノモノ  
ニ對シテハ工場法ヲ適用シナイコトニナッテ居ル、例ヘテ言  
フテ見ルト、足袋ノ裁縫ノ如キ、動力ヲ使用シナイモノニ對  
シテハ、工場法ヲ適用シナイコトニナッテ居リマスケレドモ、  
今日ハ農村ノ副業モ段々進歩シテ來テ、農業ノ方デモ動力  
ヲ使用スルコトガ多クアル、農業ガ農業方面ニ對シテ動力  
ヲ使用スルコト云フコトニナリマスレバ、動力ノ餘クモノヲ  
副業ノ方面ニ使用スルノハ、勢ヒ仕方ガナリ、斯ウ云フ場合  
ニ農村ガナツタ時ニ、此工場法ヲ適用サレルト云フコトニナ  
ルト、遂ニ農村ノ副業ノ進歩ヲ妨ゲル虞ガアルト思フノデ  
アリマス、此點ニ於テドウ云フ風ニ初考ニナッテ居ルカ、一  
應御尋致シタイ

○河原田政府委員 十五人ヲ十人ニ致シマシテ理由ハ、技  
ニ中上ゲル必要モ無イト思ヒマスガ、要スルニハ一面ニ  
於キマシテハ、労働者ノ保護デアッテ、即チ現行法ガ出來マ  
スル際ニ、原案ニモ十人ト云フ原則ヲ採ッテアリマス、  
今日既ニ工場法施行後十數年ヲ經テ居ル今日ニ於キマシテ  
ハ、前ニ原則ニ採ッテ十人ト云フコトニ改正スルコトガ至當  
ト考ヘマス、又國際労働條約ノ中ニモ、日本ハ十人ニスル  
云フコトニナッテ居リマス、其等ノ點ヲ今日參酌致シマシ  
テ、今日改メタルコトガ必要ト認メタノデアリマス、又農村ト  
ノ關係ハ、是ハ農村デヤツテ居ル場合ニ於キマシテ、工場ト見  
ラレヌヤウナモノハ、無論工場法ノ適用ハ無イト考ヘマス、  
工場ト見ラレル場合ニ於キマシテモ、先ヅ十人以上ノ者ヲ  
使ッテ居ルモノハ、例ヘバ織物デ言ヒマスレバ、力織機ノ二  
十臺位ハ使ヘルト云フノデ、マア大體工場ノ體裁ヲ爲シテ  
居ルモノハナイト思フノデアリマス、其他ノ事業ニ付キマ  
シテモ、工場ト見ラレヌモノハ、工場法ノ適用ハシナイ筈デ  
アリマス、ソレカラ産業組合等デヤツテ居ル事業ニ付テハ、  
是ハ今日實際工場法ヲ適用サレテ居ラヌヤウナ實況デアリ  
マス、農村ニ付キマシテハ、自ラ又各國ノ場合ニ依ッテソレ  
ノ事情ヲ異ニスルコトモアラウト考ヘマスガ、今日ノ所  
ハ先ヅ原則トシテ十人以上ト云フコトニ改メルコトガ必  
要デアラウト云フノ出來タノデアリマス

○守屋委員 此ハ此原動力ヲ用ヒルト云フ場合ニハ、工  
場法ヲ適用スルコト云フコトニ相成ッテ居リマスカラ、農村ニ  
於テ原動力ヲ用ヒマスル場合ハ、亦工場法ヲ適用シナケ  
レバナラヌト思フ、サウシテ農村ニ於ケル工場ノ狀態ト、ソ  
レカラ都市ニ於ケル工場ノ狀態トハ、自然先程モ申上ガマ  
シタヤウニ趣ガ違ッテ居ル、サウスレバ勢ヒ此間ニ何カ適當  
ナル區別ヲ以テ、農村ノ工業ニ對シテ保護爲サルト云フ御

意向ガアルカナイカト云フコトヲモウ一遍承リタイ  
○河原田政府委員 都市ト農村ト云フ場所ノ關係デ、工  
場法ヲ適用スルヤ否ヤト云フコトヲ區別ヲ立テルコトハ、  
餘程困難デハナイカト存ジマスノデ、要スルニ仕事ノ種類  
性質ニ依ッテ決メヨリ仕様ガナイト思ヒマス、施行令ノ第  
一條ニ掲ゲテアリマス、是等ノ仕事ハ隨分農村ノ副業ニ屬  
スルヤウナ仕事ガ多イノデアリマスカラ、自然ト第一條ノ  
規定ニ依リマシテ、農村ノ副業ハ除外サレルヤウナ結果ニ  
ナル場合ガ多カラウト考ヘマス、ケレドモ農村ト都會ト云  
フヤウナ場所ノ區別デ以テ工場法ノ適用ト否トヲ決メルト  
云フコトハ、餘程困難デハナイカト考ヘマス、要スルニ其事業  
ノ中、種類性質ニ依ッテ決メタイト考ヘテ居リマス

○守屋委員 仕事ノ種類性質ニ依ッテ其人數ヲ御決メニナ  
ルト云フコトニナリマスレバ、仕事ヲスル性質ニ依リマシ  
テ、勿論職工ノ衛生狀態ニ關係ヲ及ボスコトハ當然デア  
ル、然ラバ職工ノ衛生狀態ガ仕事ノ種類ニ依ッテ關係スルノデ  
アレバ、農村ト都市トノ狀態カラ考ヘマスレバ、衛生狀態ニ  
關係ガアルト私ハ思フ、テ居リマスガ、其點ニ付テハ如何デス  
カ

○河原田政府委員 單ニ衛生狀態カラ申セバ、其場所ニ依  
リマシテ都會ト農村トガ非常ニ健康ニ及ボス關係ト云フモ  
ノモ違ヒマスカラ、是ハ御意思ノ通りト考ヘマスガ、唯、工  
場法ノ目的トスル保護ノ範圍ト云フモノハ、一面ニ於キマ  
シテハソノコトニ使ハレテ居ル職工ノ扶助ト云フ事ガ一ツノ保  
護ノ目的デアリマス、即チ其業務上負傷スルツカ、業務上ノ  
疾病ヲシタ場合ニハ、工場主ハソレノ扶助ヲシナケレバ  
ナラヌト云フヤウナ規定ガアリマスノデ、此點ガ都會ト農  
村ト云フ區別ハ立タヌノデアリカト思ヒマス、都會ニ在  
ル職工ハ扶助ノ保護ヲ受ケルガ、農村ニ於ケル職工ハ扶助  
ノ保護ヲ受ケヌト云フコトハ、不均衡ニナリハセヌカト思  
ヒマス、ソレカラ又十三條ノ問題ガアリマスガ、行政官廳ハ  
命令ノ定ムル所ニ依ッテ、工場其他ノ設備ガ危害ヲ生ジ、衛  
生其他公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ、豫防又ハ除害  
ノ爲必要ナル事項ヲ工場主ニ命ズルコトガ出來ルト云フ規  
定デアリマスガ、是亦事業ノ種類性質ニ依ッテ決メナケレバ  
ナラヌ事ト思ヒマスノデ、此點ハ概括的ニ農村ト都市ト云  
フ風ニ區別ガ立テニクイノデアリカト思ヒマス、衛生關  
係ガケカラ申セバ、農村ト都市トハ區別ガアリマスガ、十三  
條ノ規定若クハ扶助ノ關係ト云フ事カラ考ヘマスルト、地  
域ガケデハ區別ガ立チニクイ、隨テドウシテモ事業ノ性質  
種類ト云フ事ニ依ッテヤツテ行クノガ適當デハナイカ、斯ウ  
考ヘテ居リマス

○守屋委員 次ニ御尋致シマスガ、紡績組合其他ノ工業團  
體ニ就テ御諮問ニナリマシタ時ニ、時間ノ短縮ニ依リマシ  
テ、工資ノ關係ハドウ云フ風ナ答申ヲ致シテ居リマスガ、即  
チ時間ヲ短縮致シマスルコト云フト、從來十二時間労働シテ居  
タ者ガ、八時間労働ニナリ、或ハ八時間半労働ニナルト、隨  
テ能率ニ關係ガアルカラ、工資ヲ工場主ガ支拂フノニ、十二  
時間働イテ居ルヨリハ少ナイ工資ヲ支拂フヤウニナリハシ  
ナイカト思ヒマス、此場合ニ職工ハ少ナイ工資ヲ以テ肯ン  
ジテ居ルカ、或ハ從來ノ通りニ、十二時間働クト同様ノ工資  
ヲ要求スルノデアアルカドウカ、此點ニ付テ進歩シタル工場  
ニナレバ、工場委員會ナドヲ設ケテ居リマスカラ、之ニ何レ  
諮問シテ居ルニ違ヒナイト思ヒマス、其點ニ付テ御調ベニ  
ナッテ居ル事ガアレバ、承リタイ

○河原田政府委員 當方カラ紡績聯合會其他ニ諮問致シマ  
シタ答申ノ中ニハ、工資ノ事ハ何トモ申シテ參ッテ居リマセ  
、唯、色々當業者ノ話ヲ聞キ、又コチラデ色々調査シ又考  
ヘマシタ結果ニ依リマスルコト云フト、先ヅ一時間位ノ時間短  
縮デアラナラバ、一面ニ於テ労働者ノ健康狀態ヲ増シマス、  
其結果病氣缺勤等モ少クナリマス、又一面各個人ノ能率モ  
或ル場合ニ於テハ上ルコト云フヤウナ事モアリマスカラ、大  
體ニ於テ大シタ障リハナイノデアリカ、場合ニ依ルハ或  
ハ却テ生産ニ好イ影響ヲ及ボスコト云フ事モ出來ハセヌカト  
思ハレマスノデ、其結果トシテ自然ト賃銀ノ方ニハ惡イ影  
響ハボサヌノデアリカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、  
二三ノ當業者ニ意見ナドヲ徵シマシテモ、時間短縮ノ結果  
賃銀ニハ左程ノ影響ハ及ボサヌデアラウト云フヤウナ風ニ  
伺ッテ居ルノデゴザイマスガ、紡績組合會其他ニ對スル答申  
ノ中ニハ、何等其點ハ書イテ參リマセ

○守屋委員 工場主ノ方カラ考ヘマスルコト云フト、時間ヲ短  
縮致シマシテ、工資ヲ少ナク支拂ッテ、サウシテ比較的個人ノ  
能率ヲ上ゲルコトガ出來ルコトニナリマスカラ、工場主ト  
シテハ非常ニ結構デア  
ル、併シ労働ノ方カラ考ヘマスル  
コト云フト、自己ノ身體ノ健康カラ言ヒマスルコト云フト、或ハ時間  
短縮ト云フ事ガ必要デア  
ルカモ知レナイケレドモ、今日ノ  
生計カラ申シマスルコト云フト、労働時間ヲ減少シタ爲ニ、工資  
ヲ少ナク貰フコト云フコトニナルト、忽チ自己ノ生活ノ不安  
感ズルコトニナル、此點ニ付テハ社會局トシテハ相當ト御  
考ヘニナラナケレバ、ナラヌ點デハナイカト考ヘテ居リマ  
ス、若シモ工場主ノ方デハ時間ヲ短縮シタ爲ニ工資ヲ少ク  
拂ヒ、サウシテ労働者ノ方デハソレガ爲ニ生活ノ不安ヲ感  
ジタト云フコトガ起リタ時ニハ、工場主ニ命令シテ能率ニ  
依ッテノ工資ヲ設定スルヤウナ風ニ命令ナサルナリ、或ハ御  
注意ナサイマスガ、又サウ云フ場合ニ對スル御意見ヲ有ッテ  
御出デニナリマスガ、承リタイ

○河原田政府委員 此賃銀問題ト云フノハ、中々困難ナル問題ト考ヘマスルノデ、色々學說ニハ最低賃銀法トカ、或ハ國際勞働條約ノ或ル部面ニモ、例ヘバ女子トカ子供ヲ一定ノ時間以上ニ働カシタ場合ニハ、割増賃銀デヤルヤウニセヨト云フヤウナ條項モアル位デアリマスガ、實際此賃銀ノ關係ト云フモノハ、餘程ムヅカシイ問題デアリマシテ、行政命令ヲ以テ賃銀ハ斯ク々々デナケレバナラヌトカ、生産ガ上ツタラ斯ウシナケレバナラヌトカ云フヤウナコトヲ規定スルコトハ、餘程實際問題トシテ困難デアリマスカラ、此點ハ十分ナ研究ヲ遂ゲナケレバナリマセヌケレドモ、直ニ實行シ得ルコト云フコトハムツカシイ事デアリナカト考ヘテ居リマス、併シ唯、此儘トアリマシテモ、只今申述ヘマシタヤウニ、時間短縮ノ結果、生産ニモ大シタ影響ヲ及ボサナイ場合ニハ、自然トソレガ勞働者ノ力ニ依ッテ出來タ次第デアリマスカラ、假令時間短縮ガアリマシテモ、少ク賃銀ニハ直ニ影響ハ及ボサスノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、今回工場法ヲ改正致シマスニ付テモ、單ニ勞働者ノ身體的ノ保護禁止ヲ實行シマスレバ、是ハ一番身體ノ上カラ言ヘバ理想のデアリマスガ、ソレノ生産ニ及ボス影響、隨テ失業トカ、賃銀ニ及ボス影響トカ、價格ノ騰貴トカ云フヤウナ事モ考ヘマシテ、適當ナ程度デキマシタヤウナ次第デアリマスノデ、當局ト致シマシテハ、無論勞働ノ賃銀ニ及ボス影響等ニ付キマシテハ、十分ニ考慮致シタ積リデアリマス

○守屋委員 此賃銀問題ニ付テハ、御説明ノ通り中々ムヅカシイ問題ダラウト私モ思フテ居リマス、賃銀ヲ時間ニ依リマシテ今日迄支給シテ居リマスガ、之ヲ或ハ一週間ノ勞働ニ對シテ何ボト云フ風ニヤルカ、若クハ賃銀ヲ定メルニ能率ニ依ッテ賃銀制度ヲ定メルカト云フコトハ、色々其方面ニ就テ研究ガ出來テ居ラウト思フ、ソレデ時間ヲ短縮スルト云フコトハ、一面工場主ノ方デハ賃銀ヲ少ナク拂ッテサウシテ能率ヲ高メルコトニナリマスカラ、或ル程度ニ於テハ利益ヲ増スコトニナルガ、又時間ノ短縮ニ依ッテ生産ノ數量ハ少ナクナリマスカラ、勢ヒ工場費ハ高クナル譯デアリマス、サウ云フ風デ一面工場主ノ方ハ能率ハ上ルケレドモ、生産原價カラ申シマス、非常ニ高イ物ガ出來ルコトニナリマスカラ、工場主ハ工場法ノ適用ガ苦痛デアラウト思ヒマス、又職工ノ方カラ申シマス、時間ヲ短縮サレタ爲ニ、隨テ自己ノ賃銀ガ減ッテ來テ、生活ノ脅威ヲ受ケルコトニナル點ガアリマスカラ、是ハドウシテモ一週間ノ賃銀ヲ設定スルコトガ、今日ノ場合適當デハナイカト思フ、此點ニ付テハドウ云フ御意見ヲ持ッテオホデニナリマスガ

○河原田政府委員 段々御尤ナ御考ト思ヒマスガ、先程モ申述ヘマシタ如ク、賃銀支給方法ト産業トノ關係ハ餘程ムカシイ點ガアリマスノデ、是等ハ將來大ニ研究ヲ盡シタイト思ヒマスガ、今日ノ所ハドウシテ宜イト云フコトニ付キマシテ、マダ結論ヲ得テ居リマセヌ

○守屋委員 先程高田君カラ御質問ニナリマシタ中ニ、第四條中ノ深夜業ニ付テ午後十時カラ翌朝ノ午前五時マデ七時間ノ休養ヲ與ヘルガ適當デアルト云フ御話デアリマシタ、吾々ハ此七時間ト云フコトニ賛成ヲ唱ヘル者デアリマセヌガ、時間ニ依ッテ、午後十時カラ午前五時マデト云フヤウニ御決メニナルヨリハ、或ハ午後十時半カラ午前五時半ト云フ風ニ、三十分デ御決メニナルコトガ時ト場合ニ依ッテハ適當デアリカト思ヒマス、又午前五時カラ午後十時ト云フコトハ、勞働會議ニ於テ決ツタコトデアッテ、各國モ此例ヲ採ッテ居ルト云フ所カラ決メタモノトスレバ、日本ノ地形ト各國ノ地形トハ違ッテ居リマス、又氣候風土ニ於テモ違ッテ居リマスカラ、各國ノ例ニ依ッテ決メタコト云フコトハ、甚ダ意味ヲ成サヌモノト思フ、日本ノ勞働時間ニ對シテハ、モウ少シ氣候風土ノ關係等ヲ斟酌シテ御決メニナルノガ適當デハナイカト思ヒマス、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○河原田政府委員 現行法ハ御承知ノ通り午後十時カラ午前四時ト云フコトニナツテ居リマスガ、之ヲ實際ニ徵シマラス、午前四時カラ始メルコトニナルト、ドウシテモ三時カラ起キテ、通勤工ナドハモット早く起キナケレバナリマセヌ、寄宿舎ニ居ッテモ矢張午前三時前後カラ起キナケレバナラス、是ハ餘リ早過ギルト云フ點ヲ斟酌シマシテ、矢張國際勞働條約案ノヤウニ、午後十時カラ午前五時マデガ適當シタ時間デハナイカト考ヘタ次第デアリマス、是等ノ點ニ付テハ當業者ノ方ニモ午前四時ハ早過ギルト云フ意見モアルヤウニ存ゼラレマスノデ、旁々午前五時ト云フコトガ實際ニ適シテ居ルト考ヘタ次第デアリマス、今日マデハ休養時間ガ六時間デアリマスガ、是ハ少クトモ七時間位ニ延長シタイト云フ趣旨カラ、午前五時ト云フコトニ致シマシタ次第デゴザイマス

ヒマス

○河原田政府委員 但書ノ方ハ極ク稀ナ場合デ、産業狀態其他ニ依ッテ、已ムヲ得ズ十一時マデハ許スト云フ次第デアリマスカラ、矢張原則ハ午後十時カラ午前五時ト云フコトガ適當デハナイカト思フテ居ル、三十分ノ伸縮ハ是ハ程度問題デ、醫學上ナリ何ナリカラ見テ、午後十時カラ午前十時半マデニスルト、午後十時カラ午前五時マデト、ドチラガ宜イ惡イト云フコトハ、是ハ見積リデ行クヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、夜ハ矢張午後十時マデヤレバ自然十一時頃ニナリマスカラ、成ベク夜ハ早く歸ス方ガ宜クハナイカト思ヒマス、ソレカラ先程申シマシタ日本ガ國際聯盟ノ一員トシテ國際勞働會議ノ仲間ニ入ッテ居リマス以上、差支ナイ限りハ條約案ノ趣旨ニ從フ方ガ國際會議ノ上カラ申シマシテモ宜シイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○守屋委員 此ハマダ各條項ニ付テ質問ガアリマスケレドモ、今日ハ是デ止メテ置キマス

○鈴木委員 長 矢野君、今農商務省ノ政府委員ガ參リマセヌカラ、午後ニデモ又呼ブコトニ致シマセウ、ソレカラ宮崎君ノ番デスガ、今一寸居ラレマセヌカラ、中原君、十二時マデニモウ十分シカアリマセヌガ、ドウセ午後一時カラ開キマスカラ、午前ハ此位ノ程度ニテ止メテ置イタラトウデスカ

○中原委員 宜シウゴザイマス

○鈴木委員 長 ソレデハ午後一時カラ始メマス

午後一時五十二分休憩

五

第五類第五號 職業紹介法中改正法律案外二件委員會會議錄

第三回 大正十二年三月七日

○鈴木委員 長 午前ニ色々御説明ガアリマシタ、國際勞働會議ノ結果云々ト云フヤウナ御言葉デ御説明ニナリマス、殆ド此勞働問題ニ對シテハ持チ切れヌ程アリマスガ、折角此勞働問題ニ對シテ餘程御研究ニナツテ居ル貴方デアリマスカラ、モウ一寸私ハ承ッテ置キタイ、先程申シマシタ通り現行法ニ於キマシテハ午前四時カラ午後九時迄ニ深夜業ト云フモノハナツテ居リマスガ、今日御改正ニナリマスノハ、午前五時カラ午後十時迄トナリマス、是ハ實際大キイ工場ニナリマス、必ズ之ヲ二交代ニシナケレバナラス、二交代ニシテ働クコトニナレバ、先程御話ノ午前四時カラ就業スルコトニナレバ、三時頃カラ起キナケレバナラス、又午後十時マデハ終業スルコトニナリマスレバ、歸リ途ニ職工ガ三十分位ノ時間ヲ要スルカラ、十時半乃至十一時ニ自分ノ家ヘ

歸ルト云フコトニナル、是ガ一人ノ職工ガサウ云フヤウニ

働クナラバ、御説ノヤウデアリマスケレドモ、二交代ト云フ

コトニナレバ、午前三時半ニ起キタ者ハ、矢張中間交代シ

テ自分ノ家ヘ歸ヘルコトニナリマス、サウスルト必ズシモ

午前五時カラ始メナクテモ宜イヤウニ思フ、此點ハ國際勞

働會議ノ結果、午前五時カラ午後十時ト云フ風ニナッテ居ル

コトデアラウト思ヒマスケレドモ、實際問題トシテ、我國ノ

製絲業者或ハ紡績業者其他ノ工業カラ觀察政シマシテ、二

交代制度ヲ採ル工場ニナレバ、其方ガ適當デアリカト思フ、

此點ニ付テ國際労働會議ノ結果云々ト云フコトハ離レテ、

本當ノ實際問題トシテハ、此方ガ宜イトカドウトカ云フ御

意見ヲ承リタイ

○河原田政府委員 國際問題ヲ離レマシテ、日本ノ現狀カ

ラ申シマス、朝ノ五時カラ六時ニスルト云フコトハ、是

ハ決シテ惡クナイ、唯々十時カラ十一時若クハ十一時カラ

十二時ニスルト云フコトガ惡イノデハナイカ、是ハ實際職

工ノ勤務ニ就ク狀況カラ申シマシテモ、夜十一時ニ終ルト

ナレバ、矢張何ノカンデ家ヘ歸ルト十二時ニナル、十時ニ終

ルナラバ何ノカンデ十一時ニナルト云フヤウナコトデアリ

マスカラ、先ヅ十時ト云フ位ニシテ置キマスノガ、總テノ點

ニ於テ便利デアリカト思ヒマス、ソレカラ此深夜業ノ問題

ニナリマス、ドウ云フ結果ヲ及ボスカト申セバ、是ハ中々

ムヅカシイ問題デアリマシテ、是ハ御醫者様ノ代辯ノヤウ

ガ、第何回マデ御配布ニナリマシタカ

○河原田政府委員 第三回マデ御配布ラシテ居ル譯デアリ

マスガ、御手許ニ行ッテ居リマセスケレバ……

○武内委員 第四回ノ國際労働會議ニ於テ、日本ノ労働狀

態ヲ甚ダ不審ナリトシテ、調査ヲスルト云フ決議ラシタ

云フコトデスガ、政府ノ方デハ未ダ秘密ニサレテ居ルガ、新

聞社ナドニハサウ云フ電報ガ來テ居ルト云フコトデアリマ

スガ、サウ云フ事實ガアリマス

○河原田政府委員 是ハ斯ウ云フ狀況デゴザイマス、當時

日本カラ労働代表トシテ出マシタ田澤代表ガ質問書ヲ出シ

マシテ、日本ハ第一回労働會議以來參加シテ居ルケレドモ、

第一回労働會議ノ條約案ヲ未ダ日本ハ十分實行シテ居ラ

ス、是ハ怪シカラヌデヤナイカト云フコトノ質問書ノナモ

ノヲ發表シタ次第デアリマス、ソレニ對シマシテハ日本ノ

政府側ノ代表者ハ、全部ハ實行ニ至ラヌケレドモ、例ヘバ失

業ニ關スル條約案ト云フヤウナモノハ、既ニ法律ニモ作リ、

批准シテ居ル、ソレカラ例ノ健康保險ノ仕事ヲ十分ニス

ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、現行保險法デヤッテ居

ル、併シ其他ノ時間ノ問題トカ、幼年工ノ問題等ニ付テハ、

或ハ幼年労働者ノ最低年齡法ノ問題ハ、目下調査中デアル、

サウシテ出來ルダケ共精神ヲ汲ミタイト云フコトヲ説明シ

テ居リマスカラ、日本ニ對シテ調査ヲスルト云フヤウナ國

際労働事務局ニ於テ、日本デ實行シテ居ラスカラ調査ヲス

デアリマスガ、大體ニ付テ御意見ヲ承リタイ

○水野國務大臣 御答致シマス、此失業者ノ救済竝ニ將來

ニ關シマスル保護ト云フコトハ、洵ニ重大ナル問題デアリ

マシテ、之ニ付キマシテハ政府トシテモ慎重ニ考慮セネバ

ナラヌコト、思ヒマス、殊ニ只今御話ニナリマシタガ如ク、

事業界ノ萎靡ニ伴ヒマシテ失業者ノ増加スルト云フコト

モ、考慮セネバナラヌト思ヒマス、之ニ付キマシテハ先ヅ第

一ニ失業業者ガ生ジマスレバ、則チ之ニ對シテ何ト申シマス

カ、仕事ヲ與ヘルト云フコトヲ考ヘテ行カネバナラス、唯、

御承知ノ如ク、我國ニ於マシテハ、歐羅巴、亞米利加等ノ

狀態トハ異ル所モアリマスルカラ、必シモ彼ノ國ニ於テ行

ハレルガ如キ制度ヲ直ガ採用スル譯ニ參ラヌト思ヒマス、

兎ニ角失業業者ニ對スル保護救済ト云フ事ニ考ヘ及ボサナケ

レバナラス、之ニ付キマシテハ先ヅ今日デハ此職業紹介所

ト云フモノガアリマスルガ、此職業紹介所ノ努力ヲ十分ニ

致シマシテ、失業業者ノ生ジマシタ時ニハ、之ニ對シマシテ職

業ヲ紹介シテ仕事ヲ與ヘル云フコトニ致シマシタ、ソレカ

ラ又我國ニ於キマシテハ、兎ニ角農業國デモアリマスシ、出

來ルダケ歸農ノ方法モ講ゼナケレバナラス、或ハ又職業保

護趣旨ニ於キマシテ、移植民ト云フ方モ考ヘナケレバナラ

ヌノデアリマス、是等ノ事ニ付キマシテハ、只今出來ルダケ

ノ力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテ

ハ、唯、ソレダケデハイケヌト思フ、ドウ致シマシテモ是ハ

第二實行スル、斯ウ云フヤウナ御答デアリマシタガ、其通り諒解致シマシテ宜シウゴザイマスカ

○水野國務大臣 左様デアリマス、是ハ是非サウシタイト思ヒマス、ソレニハドウ致シマシテモ基礎材料ヲ調ベナケレバナラヌカラ、其材料ヲ調ベルコトニ極力力ヲ致シテ、今折角其方ニ考テ致シテ居リマス

○正木委員 次ニ御伺致シマスルガ、労働組合ト申シマスコトハ、吾々必要ト考ヘマス、ドウシテモサウ云フヤウナモノハ拵ヘナケレバナラヌト思フ、ソレニ付テノ政府ノ御考ハドウデスカ

○水野國務大臣 左様デアリマス、労働組合ト云フ事モ、是ハ何レノ時カ造ラナケレバナラヌコト、考ヘマス、併シ御承知ノ通り、我國デハ労働組合ニ對シマシテハ今日自由ノ主義ヲ執ッテ居リマス、デアリマスカラ今日デモ任意的ニサウ云フ組合ヲ造ルダケニナッテ居ル次第デアリマス、併シ之ヲ法ニ基ク所ノ組合制度ト致シマスルニハ、ドウシテモ法人格ヲ與ヘナケレバナラヌ、又ソレニ付キマシテハ、組合ノ組織並ニ組合員トシテノ行動、又ハ其組合ノ方法モ、或ハ職業制ニスルガ宜イト云フ説モアリマス、地方的ニシテ宜イト云フ説モアリマス、又組合ガ出來マシタ以上ハ、ソレニ對スル保護ト取締モ必要デアリマス、是等ノ事柄ヲ綜合致シマシテ考ヘテ居リマス、是等モ相當ノ時期ニ相當ナ材料ヲ備ヘテ政究シタイト思ッテ居リマス、唯、併ナガラ是ハ今日直ニ之ヲ制定スルカドウカト云フコトハ、今少シク考慮ヲ要スル、併シ是ハ私ノ考デアハ、何レノ時カサウ云フ制度ヲ作ラナケレバナラヌコトニナルト思ッテ居リマス、只今直ニ是ガ成案ヲ得ルト云フコトハ出來マセヌガ、サウ云フ方面ニ付キマシテハ、諸般ノ制度法規ト共ニ考慮致シタイト云フ考ヲ以テ、調査研究シテ居ル次第デアリマス

○正木委員 是ハ或ハ農商務省ニ於テ原案ヲ拵ヘルトカ、又ハ内務省ニ於テ案ガ出來タト云フテ、其間ニ何カ外觀カラ見マス、事務ノ管轄爭ト申スト可笑シウゴザイマスガ、何カ統一ヲ缺イテ居ル爲ニ、其案ガ出ルノガ遅レタ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマスガ、ドウデアリマスガ、何デモ兩方共ニ、農商務省デ出來タ、内務省デ出來タト云フテ、種々管轄ノ爭ガアル形ニナッテ居リマス、貴方ハ之ニ對シテ別段御反對デモナイノデアルケレドモ、未ダ其案ガ出來ナイト云フノハ、サウ云フヤウナ關係デ出來ナイノデスカ

○水野國務大臣 是ハ今迄ノ事ヲ打明ケテ御話致シマス、マダ私ノ關係シテ居ル前ノ事デアリマスガ、労働組合法ト云フ事ニ付キマシテハ、農商務省デモ調査シテ一應ノ案ガ出來タサウデス、内務省ニ於テモ是ハ案ガ出來テ居ル、其内容ニ付キマシテ、多少異ッテ居ル所ガアル、大體ニ於テ違ッテ

居リマセヌガ、多少異ッテ居リマス、是ハ産業調査會ト云フモノガアリマシタガ、ソレニ付議シテ居ルテ、其儘ニナッテ居ル、其内容ニ付キマシテハ、是ハ多少今迄ノ所デハ農商務省ノ見タ所ト、内務省ノ見タ所ト多少違ッテ居ル所ハアル、是ハ一理アルト思フ、是ハ何モ管轄爭ト云フヤウナ意味デナクシテ、兎ニ角兩方ニ於テ研究シタ案ガ出來タ、私共ハ今日我國ノ實況ニ照シテ、之ヲ如何ニシタラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、政府一體ト致シマシテ、農商務省トカ、内務省トカ、逕信省トカ云フコトニ付マシテ、其等ノ諸案ヲ綜合シタラ宜カラウト云フコトニ付マシテ、其等ノ諸案ヲ綜合致シマシテ研究ヲ遂ゲテ居ルト云フ次第デアリマス

○正木委員 次ニ御尋致シマスルガ、追々社會ノ文化ガ進ムト申シマスルカ、交通頻繁ノ爲ニ色々ノ思想ガ進入ルト申シマスガ、兎ニ角今日ノ労働社會ノ空氣ト云フモノガ、色々ノ空氣ガ進入ッテ居ルヤウニ認メマス、此労働社會ニ於キマスル所ノ空氣ヲ保ツト云フ事ハ、日本ノ外務政策トシテ最モ必要ナ事ト考ヘマス、ソレニ付テ政府ハ如何力ヲ策ガアリマスガ

○水野國務大臣 一寸御尋ノ趣旨ヲ諒解致シマセヌデシタガ、要領ヲ一寸……

○正木委員 或ハ「ストライキ」ヲ起サスデモ宜イ時「ストライキ」ヲ起ス、其起ルニ妙ナ何カ煽動者ト云ハレルヤウナ人間ガ進入ッテ來タト云フヤウナコトガアル、何トナク或點ニ於キマシテハ労働社會ノ空氣ガ惡化スル傾ガアルト思フ、勿論一面ニ於テハ其爲ニ人道問題等ガ進ンデ居ルコトモアリマス、或ル點ニ於テハ餘程妙ナ形ニナッテ居ル、ソレハ何分多數ノ者デアリマスカラ、自ラ外ノ社會ニ及ボスト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレニ付テハ政府ハ如何力ヲ正スルト申スカ、サウ云フコトニ付テ策ヲ御立テニナル御考ガアルカドウカト云フコトヲ……

○水野國務大臣 労働者ノ現在ノ狀況ニ付キマシテハ、只介御話ノヤウナ情勢モアラウト思フ、兎ニ角戰時並ニ戰後ニ於キマシテ、労働問題ト云フノガ御承知ノ如クニ歐米ニ於キマシテ、中々強イ勢ヲ以テ起リツツアッタノデ、其餘勞ト致シマシテ我國ニモ其風潮ハ殖エテ來タト思フ、一面カラ申シマスレバ、労働者ノ自覺ト申シマスガ、或ハ労働者ノ權利思想ヲ發達シ中シマスガ、云フヤウナコトデ、必ズシモ全然私ハ惡イトハ思ハナイ、一面ニ於テハ其マア通俗ニ云フ所ノ惡化シタト云フ狀態モ是モ亦無イ事ハナイト思フ、ソレデアリマスカラ此問題ヲ適當ニ解決ヲ致シマスルニハ、労働者並ニ資本家ノ兩省ノ協調ヲ保チ、兩者ノ利益ヲ圖ッテ以テ産業ニ資スルト云フ所ニ著眼シテ行カネバナラヌト思フ、今具體的ニドウ云フ方法ガアルカト云フコトヲ申上ゲルコ

トハ實ハムヅカシイノデアリマスガ、要スル労働者ノ自覺ヲ俟チマシテ労働者ノ地位ヲ向上シ、又其人格權利モ相當ニ尊重シ、一面ニ於テハ資本家ニ於テモ之ニ對スル相當ノ考慮ヲ爲シ、サウシテ相互ノ關係ニ於テ圓滿ナル協定ヲ爲シ得ルヤウナ方法ヲ盡スルコトガ最モ必要デアラウト思フ、其趣意ニ隨ヒマシテ、是等ニ對シマスル考ヲ決メテ行カネバナラナイト云フコトデ、折角其點ニ付テ總テノ方面ニ亘リマシテ調査ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○正木委員 就キマシテハ御伺致シマスガ、労働協調會ト云フモノガゴザイマシテ、是ハ如何ナル今動キヲ爲シツ、アリマスガ、大臣ノ仰シナル通り、サウ云フモノガ中ニ進入ッテ調和スルコトガ必要デアルト思フガ、未ダ労働協調會ト云フモノハ如何ラシテ居ルカ、更ニ甚ダ遺憾トシテ居ル、ソレ等ニ付テノ方針ハドウデアリマスガ

○栗林委員 議事ノ進行ニ付テ御尋致シマス、只今ノ工場法中ノ改正案ノ議事ト心得テ居リマス、十數件ガ此委員會ニ付セラレテ居リマスガ、此一問題ガ數日間經過シテ居リ未ダ何等直接マダ逐條ニ付テノ議事ニ及ンデナイノデアリマス、只今正木君其他ノ御質問ヲ伺フト、殆ド總テノ工場若クハ労働者ニ關スル有ユル範圍ニ亘ッテ居ル間イテ居リマスガ、果シテ質問ノ範圍ヲ委員會長ハ限定サレテ居ルカ、只今ノ議題ハ工場法ノ改正案ニ制限サレテ居ルカドウカ、他ノ議案ニ對シテモ此際ニ質問ヲ御許シニナルカ、此點ヲ伺ヒタイ

○鈴木委員 是ハ正木君ハ内務大臣ニ對シテ、此工場法ヲ制定スルニ付テ關聯シテ失業保險法其他ノ事ニ付テ大體ノ事ヲ聞キタイト云フ申出ガアッタ、正木君ニ於テモ此點ハ御了承ト思ヒマスカラ、餘リ失業問題トカ、其他ノ方面ニ亘リマスルト、遂ニ問題ノ軌道ヲ逸スルヤウニナリマスカラ、其意味ニ於テ御質問ヲ願ッテ、サウシテ更ニ又別ニ失業問題或ハ労働問題モ本委員會ニ付議サレテ居リマスカラ、其時ニ細葉ニ亘ッテ御質問ヲサレタイト思ヒマス、ドウカ其御考デ御質問ヲ願ヒマス

○正木委員 私ハ努メテ詳細ニ亘ラスヤウニ只今質問シテ居ル、御聞キノ通り何モ別ニ時間ヲ費ス爲ニヤルデモ何デモナイ、栗林君ノ議事ノ事ニ付テノ御答ト云ヒマスガ、甚ダ……

○栗林委員 ソレハ違フ私ハ此議題ノ範圍ヲ御尋シタイノデス、只今ハ一體何ノ議事デアリマスカタ云フコトデ……

○鈴木委員 工場法ハ此ニ舉ゲテアル數條ノ改正ニ過ギナイ之ニ何等ノ關係ガアリマスガ

○鈴木委員 工場法改正ニ付テ、時間問題、年齢問題等カラ、之ヲ出シタ方針ノ大體ヲ聞キタイト云フコトカラ正木

君ノ質問方起テモノト思ヒマス、ソレデ正木君ニ於テモ細  
葉ニ亘リテ聞ク譯デモナク、ソレカラ大臣ニ於テモ長ク此所  
ニ居ラレマセヌカラ、大要ニ於テ聞キタイト云フノデアリ  
マスカラ、長キニ亘ラス限リニ委員長ニ於テモ許シタ、餘リ  
細葉ニ亘リテ、本問題以外ニ亘ルヤウナレバ考慮シマス  
○栗林委員 一般ノ工業ニ關スル御尋ナレバ、吾々モ尙ホ  
御尋シタイ事ガ幾ツモアリマス、併シ付託セラレテ居ル案  
ノ中ニ、労働組合モ種々、治安警察總テノ問題モ十數件アリ  
マス、是ハ範圍ヲ限定サレテ議事ヲ進メテ願ヒタイと思ヒ  
マス

○鈴木委員 勿論諒承シテ居リマス

○正木委員 大體ノ事ニ付テ政府ノ御方針ヲ承ルコトハ極  
メテ必要デアル、大體ヲ承ランケレバ、條文ダケ一條二條聞  
イテモ判ラス、私ノ質問ハ極ク大體ヲ承ラントスル事ハ、勞  
資協調ノ何ヤラ團體ガアリマスガ、ドウ云フ仕事ヲシテ居  
リマスガ、政府ハアノ働キヲ以テ御満足ニナッテ居リマス  
カ

○水野國務大臣 勞資協調會ハ、正木サンモ御這入リニナッ  
テ居ルカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角兩三年前ニア、云フ  
會ガ出來タノデ、サウシテ、今日勞資協調會デヤッテ居リマス  
ル仕事ノ大要ハ、此労働問題ニ關スル内外ノ制度、或ハ労働  
者ノ教養、労働者ノ爲ニスル職業ノ紹介トカ、或ハ又労働ニ關  
シマシテ諸般ノ爭議ノ起リマシタ場合ニ、ソレニ關スル調  
査ト云フヤウナ事ヲ大體ヤッテ居ル次第デアリマシテ、是ハ  
マア御承知ノ如クニ私ノ法人デアリマシテ、一ノ公益法人  
ニ過ギナイノデ、内務省ガ直轄シテ之ヲ使ッテ居ルコトカ云フ  
意味デアリマスノデ、大體ニ於テサウ云フヤウナ事ノ調査  
ナリ施設ト云フコトハ、必要デアルト云フコトヲ考ヘマシ  
テ、出來ルダケ内務省ニ於テモ之ヲ援助シテ居ルヤウナ、大  
體今日ノ狀態ハ左様デ

○正木委員 次ニ政府ガ今度社會局ヲ御置キニナッテ、即チ  
此本案工場ノ如キコトモ社會局カラ案ガ出テ居ル、是ハハ  
ウ云フヤウナ御主義デゴザイマセウカ、例ヘバ今後労働組  
合等ヲ御出シニナルニモ、矢張此局カラ御出シニナルコト  
ニナリマスガ、或ハ此間私ガ本會議デ御尋シマシタ海員  
ノ保險ニ關スル事モ矢張オ造リニナルト云フヤウニ承ッテ  
居リマスガ、何分ニモ例ヘバ工場ノ事ニ付キマシテハ、生  
産等ニ非常ニ關係ガアリ、海員保險ナラバ、海運ノ關係ガア  
リ、大分事務ニ付キマシテハ專門ニ亘ランナラヌ問題デア  
ル、ソレヲ社會局一ツニ纏メテヤルト云フノハドウ云フヤ  
ウナ御方針カラサウ云フ風ニナツカ、ソレヲ承リタイ  
○水國務大臣 從來労働ニ關シマスル行政ガ、諸省ニ分レ  
テ居ッタノデアリマス、或ハ農商務省、或ハ内務省、或ハ外務

省ト云フ風ニ分レテ居リマシタガ、是ハ或ル程度迄統一シ  
テ、成ベク總テノ事柄ヲ一ツノ處ヘ纏メテ取扱フト云フコ  
トガ、事務ノ處理上便利デアルト云フコトガ、從來部内ノミ  
ナラズ、民間ニ於キマシテモサウ云フ意見ガ出タノデアリ  
マス、如何ニモソハ適當デアラウト斯ウ云フ考デ、サウシテ  
從來内務省ニ於キマシテハ社會局ト云フモノガアツタ、之ハ  
矢張社會政策並ニ社會事業ニ關シマスル事務ヲ取扱ッテ居  
タノデアリマス、ソレデアリマスカラ是等一ツノ所ニ統  
一スルコトガ便利デアルト云フコトニナリマシテ、從來ノ  
社會局ノ仕事ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、労働ニ關シマスル  
行政ハ此社會局ト云フ所デ取扱フト云フコトニ致シマシタノ  
デアリマス、ソレデアリマスルカラ、今後ニ於キマシテハ、  
只今御話ニナリマシタ労働組合トカ、或ハ失業保險、或ハ海  
員保險トカ労働ニ關シマスルコトハ、此局ニ於テ取扱フト  
トナルノデアリマス、併ナガラ斯ノ如キ労働問題ト云フ  
モノハ、主トシテ産業ト云フ見地ニ重キヲ置カナケレバナ  
ラス、産業ノ發展ト云フコトニ伴ヒマシテ、労働問題ト云フ  
コトヲ考ヘナケレバナラス、同時ニ又單ニ産業ト云フコト  
ノミニ限局シテハ行ケヌ、社會政策ノ問題トシテ考慮シテ  
行カナケレバナラスト云フノデスカラ、此兩方面ノ事ヲ考  
中ニ入レテ、立法モシ、施設モシテ行政モシテ行カナケレバ  
ナラスト云フコトデアリマス、隨テ是等事ニ付キマシテハ、  
關係ノアル場合ニハ關係ノアル所ト相談スルコトハ勿論デアリ  
マス、同時ニ又社會局ニ於キマシテハ、是等ニ關シマスル諸般  
ノ專門家モ居リマスルカラ、ソレ等ト常ニ連絡ヲ執ッテ、此  
趣旨ニ基イテ労働ニ關スル行政ヲ統一シテ實行シテ行キ  
タイト、斯ウ云フ趣旨デ今日社會局ナルモノガ出來マシタ  
所以デアル

○正木委員 私ハマダ他ニ質問ガアリマスルガ、大臣ニ對  
スル質問ハ是デ打切りマス

○武內委員 一寸今ノ大臣ノ答辯デ私ノ聴取リ兼ネタ點ヲ  
一寸確メテ置キタイカラ御許シテ願ヒマス、失業保險ハ何  
時議會ヘ御提出ニナル御豫定デアルカト云フコトヲ聴キタ  
イ、ソレデ私共ノ考ヘマス所デハ、失業保險ノ如キモノハ、  
五大國ハ申スニ及バズ、歐羅巴、亞米利加ノ諸國デモ、失業  
保險ノ制度ノ無イナドト云フ國ハアリヤシナイ、殊ニ労働  
問題ニ付テ國民ガ非常ニ緊張シテ居ル際デアリマスルカ  
ラ、是ガ制定ハ最モ緊要ナ事デ、一日モ忽ニスベカラザル事  
デアルト考ヘテ居ルガ、大臣ノ只今ノ答辯ヲ聴キマス、相  
當ナ時期ニ於テ相當ナ考慮ヲスルト云フヤウナ風ノ御答辯  
デアリマシテ、修辭ノ妙ヲ極メルト云フノカ、答辯上手ト云  
フノカ、一向要領ヲ得マセヌガ、結局今急イデ調査ヲシテ居  
ルガ、此議會ニハ間ニ合ハヌカモ知レス、併シ次ノ議會ニハ

是非出スト云フ決心ヲ以テヤッテ居ルノデアルカ、又次ノ議  
會ニモ間ニ合ハヌ、二年モ三年モサウ云フ事ヲ出スヤウナ  
機會ニ到ラスト云フコトデアルカ、極ク簡單ニ一言御答辯  
ヲ得タイと思フ

○水野國務大臣 私ハ只今正確ニ失業保險法ノ制定並ニ其  
提案ノ時期ヲ明言スルコトヲ得ナイノヲ遺憾ト致シテ居ル  
ノデアリマス、ソレハ御承知ノ如クニ、外國ナドニ於キマシ  
テ、失業保險制度ノアル國モ多クアリマスルガ、併シソレハ  
失業ニ關シマシテ諸般ノ設備モ出來テ居リマスルシ、調査  
モ出來テ居ルノデアリマス、我國ニ於キマシテハ、労働ニ關  
スル法制ト云フノハ、實ハ近時ノ事デアリマシテ、マダ十分  
ナル基礎材料ガ無イノデアリマス、ソレデアリマスカラド  
ウシテモ失業保險制度ト云フモノヲ作りマスルノニハ、第一  
ニ職業紹介ト云フモノ、普及ヲ圖ッテ行カナケレバナラス、職  
業紹介ト云フモノモ公設ノモノ、出來マシタノハ近時ノコ  
トデアリ、職業紹介法ノ出來マシタノモ一兩年ト云フヤウ  
ニ出來テ居ラナイノデアリマス、隨テ失業統計ト云フモノモ十分  
職業ノ範圍ト云フ事ニ付キマシテモ、正確ノ材料ハ今日迄  
ハ餘リ無イノデアリマス、ソレデアリマスカララヌ、此失業  
統計ト云フモノ、基礎ヲ造ッテ行カナケレバナラヌノデ、今  
年ノ豫算ニ此調査費ヲ取りマシテ、是デ一ツ正確ナ基礎ヲ  
拵ヘル、失業保險ト云フモノハ、御承知ノ如ク事業家カラモ  
金ヲ出ス、労働者側カラモ金ヲ出ス、政府カラモ金ヲ出ス、其  
金ハドノ位必要デアルカ、又ソレヲドウ云フ風ニシテ行カナ  
ケレバナラヌカト云フコトモヤッテ行カナケレバナラヌ、故  
ニ只今申シマシタヤウナ基礎材料ガ必要デアルノデアリマ  
シテ、之ニ依ッテ根本ノ土臺ヲ造ッテ行カナケレバナラヌト  
云フコトニナリマス、先ヅ第一ニソレニ力ヲ入レルト  
云フコトニナリマス、之ハ出來ルダケノ努力ヲ致シタイト  
思ヒマスルガ、今ソレガ來年出來ルカ何時出來ルカト云フ  
コトノ明言ハ、ドウモ致スコトハ出來ナイノデス、決シテ殊  
更ニ要領ヲ得ナイ事ヲ申スノデアリナイ、サウ云フコトデア  
ルノデアリマスカラ、折角調査ヲシテ居ルト云フコトニ御  
諒承ヲ願ヒタイ

○武內委員 只今内務大臣ノ御答辯ハ、成程一ツノ辯論ト  
シテノ答辯ニハナッテ居リマスルデアリマセウ、御説ノ通り  
基礎材料、失業ノ統計ト云フモノガ得ラレテ居ナイノハ、私  
モ承知シテ居リマス、併ナガラ此正確ナ統計ヲ得ルコトカ云  
フヤウナコトニナリマスレバ、三年十五年デハ到底サウ云  
フ完全ナモノ、得ラレサウナ譯ハナイ、大體ニ付テ是ガ緊  
急缺クベカラザルモノデアルト云フコトナラバ、出來ル得  
ル限り諸般ノ材料ヲ集メルト云フコトハ尤ノ事デアルケレ

未滿デモ工業ニ從事セシムルコトヲ得ト云フコトニ付テハ、十二歳以上デ小學校ヲ卒業シテ居レバ、就業サセテモ差支ナイ、且ツ此目的ハ小學校ヲ卒業シタ十四歳未滿ノ少女ヲ遊バシテ置クト、様々ナ惡イ事モ起ルカラ、就業サセル方ガ社會政策上必要デアルト云フ御答辯デアリマシタガ、併ナガラ私ノ考デハ、斯様ナ子供ヲ就業セシムルコトハ、保健衛生上有害デアル、又一方ニハ是カラ失業勞働者ノ數モ多クナルノデアルカラ、其失業勞働者ヲ其方ニ包容シテ、幼年者ノ方ハ絶對ニ使ハヌ方ガ宜イト思ヒマス、殊ニ此前ニモ申シマシタガ、義務教育ノ年限ガ増加シ、一年増スコトニナルト、十二歳以下デハ小學校ヲ卒業サレヌコトニナリマス、サウ云フ場合ニハ無用ナコトニナリマス、無用ナコトニナラヌマデモ、只今ノ理由ニ依ッテ、私ハ之ヲ削除シタ方ガ良イト考ヘマスガ、此三箇條ニ付テ政府委員ノ御説ヲ承リタイト思ヒマス

問題デアリマス、實際今日ノ工場デ、大工場ハ多少完全ナ設備モアル所モアリマス、ガ、小工場デハ衛生上ノ設備トカ、治療上ノ設備ナド極メテ不完全デアリマス、現在當該官吏ガ臨檢シタ場合デモ、其所ラニアル藥品ナドハ、多ク腐ツテ居ルヤウナモノデ、殆ド使用サレタコトモナイヤウナモノヲ發見セラル、ト聞イデ居リマス、斯様ナ次第デ、此明文ガアレバソレデ宜イト云フヤウナコトハ、實際ノ施行上ニ於テハ、不親切ナル答辯ト思ヒマス、實際ニ於テハ斯様ニスルト明確ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ避クベカラザル事由云々、是ハ減多ニ應用スルコトガナイト云フ御意見デアリマスガ、只今述べマシタ如ク之ヲ濫用シテ、行政官廳ノ許可サイ得レバ宜イノデスカラ、之ヲ避クベカラザル事實トスルト云フコトナラバ、如何ナル場合デモ差支ナイ、サウ云フコトヲ認メタリ認シメタリスルコトガ有リ得ルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌデアリマス、若シ

○塚本政府委員 第一ノ御尋ハ職工ガ疾病ニ罹ラタリキ就  
業ヲ禁止スルコトニナツテ居ルガ、如何ニシテ其疾病ヲ發見  
スルカト云フ御趣意ト思ヒマサガ、是ハ第14條ノ規定ニ  
依リ、殊ニ改正案ニ依リマススト、工場監督人ガ是等ノ爲ニ工  
場ニ臨ミ其病者ヲ發見スルコトヲ努メ、必要ガアレバ工場  
監督人ガ診斷セシメ、愈ム病者タルコトガ明ニナレバ、就  
業ヲ禁止スルヤウニシテ應用スル積リデアリマス、ソレカ  
ラ第二ノ御尋ハ、避ケベカラザル事變ノトキハ夜業ヲ許ス  
ト云フノハ、ドウ云フ意味カト云フ御尋ト承リマシタガ、是  
ハ餘程稀ナ場合ト思ヒマサガ、天災等ノ場合ニ於テ、一日モ  
早く回復シナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ備ヘタ規定  
デアリマス、サウ屢々起ルコトハナイノデアリマスガ、万一  
ノ爲ニ規定ヲ豫メ設ケタノデアリマス、第三ノハ御意見ノ

其位稀レナルモノナラバ、斯ウ云フ場合デアルト云フコトヲ  
條文ニ明記シテ置クコトガ、法ノ實行上大切ト考ヘマス、第  
三ノ問題ハ度々承リマスケレドモ、私モ度々申シマシタガ、  
是ハ意見ノ相違ニ涉リマスカ知レマセヌガ、十二歳以上デ  
教育ヲ受ケタ者ノ失業ハ、社會上有害デアルト云フ御意見  
デアリマスケレドモ、是ハ必ズシモ工場ノ女工又ハ手傳ニ  
往カナケレバ善導ガ出来ナイト云フコトモアルマイ、良家  
ノ家庭ニ女中ニヤルコトモ出来マス、是等モ勞働會議ノ結  
果、日本ハ特殊國ノ待遇ヲ受ケテ、斯ノ如ク外ノ國ヨリ劣  
タ總テ規定ニナツテ居リマスガ、將來我國ノ位置ヲ考ヘテ  
モ、ドウシテモ斯ウ云フ事ハ徹底的ニ極メテ置クコトガ、國  
ノ權威カラ申シテモ必要デアルト考ヘマス、又保健衛生ヲ  
等閑ニ附シテ、斯ノ如キ問題ヲ他ノ方カラ解決スルコトハ、

ヤウニ承リマシタガ、單ニ國民ノ保健衛生ノ上カラノミ立論致シマス、ト御尤ト思ヒマスケレドモ、一面ニ於テ先般來申上デマシタ通り、義務教育ヲ卒ヘタ者ニシテ、十四歳未滿ノモノヲ職業ニ就カシメナイデ置クコトハ、之ニ從事セシムル不利益ニ比較シテ却テ多クハナイカ、小學教育ヲ卒ヘテ職ヲ得ラレナイヤウナ者ハ、色々ノ誘惑ニモ掛リ易イ時期デアリマスカラ、其方モ慮リテ、矢張職業ニ就カシメタ方が宜カラウ、既ニ義務教育ヲ卒ヘテ居ルノデアルカラ、其方が宜カラウト云フ見解デアリマス、或ハ義務教育ノ年限ガ延長ニナリテ十四歳ニ至ルニ、一般ニ未ダ卒ヘナイト云フヤウナ場合ニナリマスレバ、自ラ別問題デアリマス

○中原委員 成程十四條ニハサウ云フ明文ハアリマス、之ニ依テ病人ヲ見出シテ、就業禁止ガ出來ルト云フ御意見デアリマスガ、事實上法ト云フモノハ實行サレナケレバナラヌモノデアリマスカラ、事實之ヲ行ヒ得ルヤト云フコトガ

其本末ヲ誤ルモノデアリマスノミナラズ、現在ノ女工ハ健康ガ極メテ惡イコトハ前ニ申シマシタ、又悲慘ナル生活ヲシテ居リマシテ、屢々工場ヲ遁出シテ、途中デ巡查ニ捕マリマスガ、斯ウ云フ境遇ニ在ルコトハ人道上ノ問題デアリマスカラ、是ハ根本的ノ問題トシテ、保健衛生ニ重キヲ措カナケレバナラス、勿論之ガ爲ニ産業獎勵ヲ妨害スルコトハイケナイト思ヒマスガ、併シ保護法案デアル以上ハ、保健衛生ヲ第一トシナケレバナリマセヌガ、内務大臣ハ如何ナル根本的ノ御考ヲ有シテ居ラレマスカ、此機會ニ於テ一寸伺ヒマス

○塚本政府委員　職工ノ病氣ヲ如何ニシテ發見スルカト云フ御尋ハ法規上ノコト、思ヒマシテ、曩キノ如ク御答致シマシタガ、實際ノ運用カラ申シマスルト、各府縣ニ工場監督官ヲ一名乃至數名配置シテアリマスノデ、其働ニ依ッテ發見スルノデスガ、併シ多クノ工場ト澤山ノ女工ヲ見ルノデア

リマスカラ、不行届ノ無イヤウニ努メナケレバナラヌト思ヒマス、今度此法律ガ通過シマスレバ、工場監督官ノ數モ増員シタイ考デ別ニ追加豫算ヲ出ス考モアリマス、其周到ナル監督ニ依ッテ、御心配ノヤウナ遺漏ノ無イヤウニ致シタイト思ヒマス、次ニ避クベカラザル事故ニ依ッテ夜業ノ禁止ヲ解カナケレバナラヌト云フコトハ、從來ノ經驗ニ依ッテ、此際ノ適用ノ見タコトガアリマス、大正七年、八年等ニ、或ハ織物工場ニ於テ發電ノ故障ニ依リ、或ハ又暴風雨ニ依ッテ、又ハ降雪ニ依ッテ、臨時休業致シタ場合ガアル、其回復ノ爲ニ夜業禁止ヲ解カザルヲ得ナイヤウナ事ガアリマシタ、又軍需品ノ必要ニ制セラレテ、夜業禁止ヲ一時解イタ事デアリマシタ、至ッテ稀ナ事デアリマスケレドモ、萬己ムヲ得ナイ場合ハ、此規定ヲ適用スルコトモアルノデス、第三番目ノハ、矢張御意見ハ御意見トシテ承リマスガ、工業ニ從事セシメナイデモ、子守或ハ商業上ノ使用人ニナルヤウナ方法モアルデアリマセウ、併シ工業ニ從事セシムルコトモアルノデアッテ、保健衛生ノ不利益ヲ忍ンデモ、矢張他ノヨリ大ナル不利益ヲ避ケタイ、色々ナ他ノ幼年ノ從事シ得ル仕事アリトシテモ、工業ニ從事セシムルコトニ依ッテ、職業ヲ授ケルコトモ利害ヲ被ル考ヘマシテ、忍バナケレバナラヌト考ヘマス、單ニ保健衛生上カラ觀察致シマスレバ、御意見ハ御尤ナガラ、ソレノミニ付テ考ヘテ居ル譯ニモ參ラヌノデアリマス

○中野委員 内務大臣ハ保健衛生ニ付テノ長官デアリマスガ、工場衛生ニ對シテ、保健衛生上如何ニ御考ヲ有シテ居ラレマスガ、政府委員ハソレ以上ニ大切ナ事ガアルト云フ御話デアリマスガ、子供ナドハ自體アッテノコトデ、十二三歳ハ最モ發育ニ大切ナ時期デアリマスカラ、私ハ保健衛生ニ最モ重キヲ措クコトガ大切デアルト存ジマス、大臣ノ御考ハ如何デアリマスガ、伺ヒマス

○水野國務大臣 御意見ノ如ク、我が國民ノ保健衛生ノ最モ大切ナルコトハ私ハ御同感デアリマス、殊ニ我國民ノ全體ノ衛生狀態ハ、歐米諸國民ニ比シマスルト惡イノデアリマシテ、死亡率カラ申シテモ、傳染病ノ關係カラ申シマシテモ、總テニ於テ劣ッテ居ルコトハ遺憾デアリマス、故ニ獨リ工場法ニ付テノミナラス、全體ト致マシテ、保健衛生ニ關スル事柄ニ付テハ、十分ニ力ヲ盡サナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデアリマス、ソレデ政府ハ保健衛生調査會ヲ設ケテ、各方面ノ方々ノ御努力ヲ煩ハシ、之ニ對シテ十分ナル方策ヲ立テタイト考ヘテ居リマス、市ニ肺結核療養所ヲ設ケルコトカ、榮養研究所ヲ設ケルコトカ、體育獎勵策ヲ立テルトカ、或ハ國民衛生思想ノ普及ヲ圖ル爲ニ、簡單ナル出版物ヲ出ストカ、幻燈、活動寫眞ニ依ッテ之ヲ獎勵スルトカ、出

來ルダケカラ盡シツ、アル次第デアリマス、工場法ノ改正ノ如キモ亦一端デアリマス、今迄ノ如ク幼年者ノ使用ナドニ付キマシテモ、甚ダ遺憾ノ事ガアル、夜業ノ如キモ其通りソレデアリマスカラ是等モ一國ノ産業ヲ阻碍シナイ程度ニ於テ、成ベク國民ノ衛生狀態ヲ改善シ、而シテ之ヲ發達セシムルト云フ趣意ニ依リマシテ、是等ノ改正モ出來タ譯ナンデアリマスカラ、御話ノヤウナ次第ニ付テハ、政府ト致シマシテハ出來得ルダケノ力ヲ盡シ、又今後一層ノ考慮ヲ致シタイト思フノデアリマス、今度ノ改正案ノ如キモ、蓋シ其一端デアルト云フコトニ御承知願ヒタイ

○矢野委員 一寸御尋致シマス、此條約ノ中ニ夜ノ十時ヨリ朝ノ五時ニ至ル時間ヲ深夜夜業ト云フコトニナッテ居リマス、然ルニ改正案ノ四條ノ但書ニ、十一時マデ許可ヲ受ケタナラバ延長スルコトガ出來ルトナッテ居リマス、是ハ條約ニ違反シナイモノデアリマセウカ、十時ト限ッタノヲ、一時間延スコトヲ得トアル、是ハ條約ノ方ニ差支ナイデスカ、ソレヲ御尋致シマス

○河原田政府委員 此條約トノ關係ニ付テハ、過日申上デマシタヤウニ、第一ニ工業労働者最低年齡法案ト、工場法中改正法律案ト二ツニ分チテデアリマス、一方工業労働者最低年齡法案ニ付キマシテハ、是ハ條約中工業ニ使用シ得ル労働者ノ最低年齡ニ關スルコトガアリマス、此條約案ハ、其條約案自體ヲ日本ニ執行致シマシテ、即チ十四歳以下ノ者ヲ工業ニ使ッテハナラヌガ、十二歳以上デアッテ學校ヲ卒業シタ者ナラバ差支ナイト云フ除外例ガアリマシテ、是ハ條約案自體ヲ何等ノ變更ナシニ法律トシ、而シテ其條約ヲ批准フシテモ、私ハ一向差支ナイ、適當ト思ヒマス、是ハ法律ヲ作ル上ニ於テ何等差支ナイト考ヘテ居リマス、工場改正案ノ方ハ、労働條約案中、例ヘバ労働時間ニ關スルモノ、ソレカラ婦人ノ職業ニ關スルモノハ、産前産後ノ問題トシテ、或ハ保護職工ノ年齡ニ關スル問題ト云フヤウナ澤山ノ條約ガアリマスガ、是ハ條約案自體ヲ日本ニ取ッテ來ルト云フコトハ、今日ノ事情ニ於テ適當デアリマセヌノデ、條約ノ精神ヲ參酌シマシテ、苟モ日本ガ國際労働會議ニ參加シテ居リマス以上ハ、出來ルダケ日本ノ現狀ニ於テ差支ナイ點デハ其性質ヲ取リ、一面ニ於テ國內ノ狀況ニ考ヘテ、サウシテ其精神ヲ取ッテ改正案ヲ出シタ、斯ウ云フ都合ニナッテ居リマスカラ、十時カラ五時ト云フコトガ原則ニナッテ居リマスガ十一時マデ延シマシテモ、是ハ條約ノ關係ニ於テモ別ニ差支ナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

セヌガ、モウ一時間、十二時マデ延スト云フコトハ——政府ガ御同意ナルヤ否ヤヲ質問スル譯デナイ、條約ニ十二時マデ延シテモ差支ガナイカ御尋シタイ、條約ノ文面ニ差支ナイヤウニ伺ッタガ、假リニ十一時マデト云フノヲ十二時マデ延スコトヲ得ト改正スルコトニナッテ、條約違反スルト云フコトガ起キルカ、其點ヲ伺ヒタイ

○河原田政府委員 條約ノ關係ハ別ニ差支ゴザイマセヌ、唯、現行法デスラ十時ト云フコトニナッテ居リマス、餘リ延スト云フコトハ條約ノ精神ニドウカト思ヒマス、條約ノ點カラ言ヘバ條約違反ト云フコトニハナラヌ、條約自體ヲ批准スルノデアリマセヌカラ、差支ガナイノデゴザイマス

○矢野委員 ソレカラ改正案ニ十一時間ハ労働時間ト云フコトニナッテ居リマス、之ヲ一時間延シテ——是モ政府ガ御同意ニナルカナラヌカト云フコトヲ御尋ネスルノデゴザイマセヌ、一時間延ス、即チ十二時間ニスルコトガ場合ニ依ッテ必要ガアル場合ニ、一時間延シテ十二時間ニスルコトハ條約ニ違反シマスガ、ドウデスカ

○河原田政府委員 條約ノ關係ニ於キマシテハ、先程申述ベマシタヤウニ、此點モ條約ヲ批准スルコト云フノデアリマセヌカラ、法律的ニ言ヘバ差支ナイ、唯、大體ノ精神カラ言ヘバ、ソレハ議論ハゴザイマセウガ、條約違反ト云フコトハナイノデアリマス

○宮崎委員 私ハ工業ノ方ニハ素人デアリマシテ、一體工場經營ナド、云フ經驗ガ無イ、此度委員トナリマシタノデ、工場法其他ノ法令等ヲ深く研究シタノデアリマスガ、或ハ私ノ質問ガ緊要ヲ失スルカモ知レマセヌ、念ノ爲メ申上デテ置キマス、此改正案ハ主トシテ保護職工ニ關スルモノデアリマシテ、國際條約ノ關係ガ根本義ヲ爲シ、又社會政策ガ根本義ヲ爲シテ居ル、之ニ關聯シテ工場法ノ根本ノ立方ニ付テ大體御尋シタイ、此工場法ヲ能ク見マス、此法ノミデハアリマシガ、兎ニ角工場主ノ取締ガ嚴ニシテ、職工ヲ非常ニ優待シ過ギルモノガナイカト、私自身が見タ所デハサウ思フ、工場法施行令第二章以下第四章ヲ見マシテモ、職工又ハ其遺族ニ付テモ、随分優遇ノ規定ガ出テ居ル、然ルニ工場主ニ對シテハ、民法ノ定ムル義務條件ノ外ニ、工場法ニ於テ特ニ色々ノ規定ガアッテ、而モ其取締ニ付テ色々ノ罰金其他ノ制裁ガアッテ、詰リ立方ガ總テ工場主ヲ取締ルコトニナッテ居リマス、之ニ反シテ職工ノ方ハドウカト云フト、殆ド優遇ハ非常ニシデアリマスガ、職工ニ對スル所ノ特別ノ取締ガ無イヤウニ考ヘル、此施行令ノ二十四條ガ、是等ガ漸ク職工ニ對スル制裁ニナッテ居リマスガ、私ガ考ヘマスルト、ドウモ餘リ大事ニシ過ギルト云フト、學問ノ無イ職工ナドハ、非常ニ已惚レテシマッテ、ドウモ工場主ニ突寬ルコトガ多イヤウニ事實

ヤウナ事ニ付テハ、制裁ガナイガ、之ニ付テ何等カ制裁ヲ設ケナケレバ、産業發達ノ上ニ於テ如何デアラウと思フ、是ハ私ノ考デハナイガ、十人以内ノ家庭工業ノ方面カラ聞キマスト、工場法デ餘リ職工ヲ大事ニスル爲ニ、職工ガ仕事ノ途中デ怠業スルトカ、廢メルトカ云フ事ガアルガ、政府ハ此點ニ付テ考慮サレタ事ガアリマスカ、或ハ是等ニ付テ特別ノ規定ヲ設ケル意思ガアルカナイカト云フコトヲ承リタイ

○塚本政府委員　只今ノ御尋ハ、工場法制定ノ精神ニ關スル事デアリマスガ、工場法ノ規定ニ付キマシテハ、只今ノヤウニ見ラル、方モ世間ニハアルノデス、又他ノ一方ニ於キマシテハ、勞働者ノ保護ガ足りナイト云フ見解モアル、其兩方ノ間ヲ都合好クヤツテ行カウト考ヘタノガ此工場法デ

古來ノ主従ノ關係、親方弟子ト云フヤウノ關係ハ、此法案ノ何處ニ斯様ナ純朴ナ規定ヲ設ケラレタカト云フコトガ見エヌ、此法ノ立方ト云フモノハ、工場主ト云フモノハ職工ヲ殘酷ニス、酷使スル者デアル、職工ハ牛馬ノ如キモノデアルト云フ觀念デ拵ヘタモノデアルト思フ、是ハ一ツノ例デアリマスガ、ドウモ近頃餘リ職工ヲ大事ニスルト言フト變デアリマスガ、斯ウ云フ規定ガ出來テ、非常ニ工場主ト云フモノニ付テムヅカシイ規則罪則ガアル爲ニ、無智ナ連中ガ色々ナ事ヲヤルヤウニ思フノデアリマス、先程申シマシタ、或ハ作業中ニドウモ此處ノ親方ガイカヌカラ廢シデシマヘト云フノデ、其鑄物工場ヲ廢メテシマウ、其爲ニ其工場デハ鑄物ヲモウ一遍ヤリ直スト云フヤウナ事ガアル、是等ハ餘程其原因如何ヲ調査シテ、或ハ相當ノ制裁ヲ加ヘナケレバナラスト云フヤウナ必要ガアルト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付

ヲ期スル外ハナイト思ヒマス  
○鈴木委員長 本日ハ質問ハ此程度ニ止メマシテ、成ベク明日ハ逐條審議ニ入リタイト思ヒマス——此際政府ニ御尋シテ置キマスガ、工場法改正ノ結果、自然工場施行規則ノ改正マスル必要ガアルト思ヒマス、何等之ニ對スル草案ガアルマスナラバ、此際提供ヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デアリマセウカ  
○塚本政府委員 草案ハマダ出來テ居リマセヌ、趣旨ハ機會アル毎ニ申上ゲテ居リマスガ案文トシテハマダ出來テ居リマセヌ  
○鈴木委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後三時四分散會

大正十二年三月九日印刷

大正十二年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局